

豊田工業高等専門学校										特別活動（5学科共通）										開講年度					平成28年度（2016年度）									
学科到達目標																																		
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分											
						1年				2年				3年				4年						5年										
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後								
						1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q			1 Q	2 Q	3 Q	4 Q							
専門	必修	特別活動Ⅲ	00003	履修単位	1								1		1											中村 裕 紀, 犬勝美 塚, 仲野 巧, 松孝 本, 嘉 鈴, 木 健次								

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別活動Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		00003		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		活動		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		特別活動（5学科共通）		対象学年		3	
開設期		通年		週時間数		1	
教科書/教材							
担当教員		中村 裕紀,犬塚 勝美,仲野 巧,松本 嘉孝,鈴木 健次					
到達目標							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週	キャリア教育支援：目標設定・確認講座				
		4週	Tファイルについて				
		5週					
		6週					
		7週	キャリア教育支援：社会が求める人材講演会				
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週	安全を誓う日 高専体育大会壮行会				
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週	夏休みの注意				
		16週	伝達事項				
後期	3rdQ	1週	アンケート				
		2週	避難訓練				
		3週	キャリア教育支援：キャリアプランニング				
		4週					
		5週					
		6週	同窓会講演会				
		7週					
		8週					
	4thQ	9週	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私				
		10週					
		11週	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私				
		12週	冬休みの注意				
		13週					
		14週	キャリア教育支援：しごとガイダンス				
		15週	定期試験について				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的 能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。		3	前4
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。		3	前4,後3
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。		3	前3,前4
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。		3	前7

			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。 3 前7
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。 3 後6
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。 3 後9
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。 3 後9
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。 3 後9
			企業には社会的責任があることを認識している。 3 後9
			企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているかを説明できる。 3 後9
			調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。 3 後9
			企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。 3 後9
			社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。 3 前7
			技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。 3 前7
			技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げるができる。 3 前7
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 3 後6
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。 3 後6
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。 3 後6

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0